

一般財団法人たかまつ讃岐てらす財団
第1期（2023年度・一般法人）事業報告書
（2023年9月13日～2024年7月22日）

【概要と主な成果】

第1期（2023年度・一般法人）は、以下の4点を重点目標とし、取り組みを進めた。

・財団の基盤づくり：

香川県初のコミュニティ財団として9月に設立以降、役員等体制の整備や各種規程の策定等、財団法人の運営に必要な組織づくりに注力した。市民からのご寄付を預かる財団として、資金の管理・活用における透明性の確保や、説明責任を果たすためのガバナンスの整備に取り組んだ。

・助成プログラムの実施：

設立時にお預かりしたご寄付を原資に、助成プログラムの公募・選考を実施した。設立前から市民の関心が高かった、子ども若者の学びや体験の機会を支えることを目的とし、学校向けと団体向けに分けて募集し、助成した。

・寄付の呼びかけ：

地域の公益活動を「寄付」という形で市民に支えてもらい、参画してもらうため、寄付募集活動を実施した。また、財団の運営そのものを継続的に支えてもらう月額・定額の寄付コース「てらすファンクラブ」を設置した。

・公益法人化に向けた取り組み：

信頼性の高い財団法人の運営を目指し、公益認定の申請をした。申請にあたり、多様な方からご意見を頂きながら、当財団の役割や目指す姿を再整理し、地域に必要とされる仕組みになるように整備した。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

1. 公益活動への助成事業

(1) テーマ指定基金

(ア) 2023年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【団体対象】

- ・当財団は、香川県で育った若者たちが「地元が好き」「いつか戻ってきたい」という気持ちを胸に進路選択に臨める未来をめざしている。そのためには地域での体験や学びを通じた小さな成功体験の積み重ねや、安心して自らの未来を肯定的に話せる居場所等の機会が必要である。そこで、子ども若者が地域との関わりの中で地元への愛着や誇りを持ち、主体的に地域と関わりを持つきっかけとなるような草の根活動に対して、助成を実施した。

・公募内容

対象事業：上記の意図を反映した、地域課題の解決や地域社会の健全な発展に貢献する事業

申請受付期間：2023年10月27日～11月30日

事業実施期間：2024年1月15日～6月30日

申請件数：17件

採択件数 : 11 件
 助成総額 : 908,000 円

・助成先

団体名（所在地）	活動内容	助成金額
一般社団法人およりラボ（高松市）	発達にユニークさのある若者たちが、生き抜くためのライフハックを共有し、将来社会で活躍できる人材となれるような当事者会の開催	30,000 円
特定非営利活動法人未来 ISSEY（丸亀市）	入院中・療養中の病気を抱える子どもたちときょうだいに病院などで学習支援やゲーム・制作活動・交流イベント等でのコミュニケーションの場を提供	100,000 円
特定非営利活動法人マイシアター高松（高松市）	表現あそびやグループワークを通して、子どもたちの発想力、表現力、伝達力を養い、自分や他者の考えや想いを伝えあい形にすることを経験・協調性を養う	100,000 円
一般社団法人パックスッキング協会ジャパン（高松市）	チャレンジド（主にダウン症）を対象にした調理体験プログラム。調理への興味を引き出し「できた」を経験し、保護者に「できる」を披露する場をつくる	100,000 円
NPO 発達にじいろ自由っ子（高松市）	発達特性のある子どもと保護者のための居場所「自由っ子広場」オープン記念イベントを開催し、当事者以外にも広場を知ってもらう機会とする	38,000 円
生理の保健室☆協会（高松市）	思春期女子が生理トラブルで困らない為に、気軽に相談でき、様々な知識を知れるイベントを開催し、生理を肯定的に捉えられるキッカケを作る	100,000 円
はずむ日本語（高松市）	外国にルーツのある子ども向けの日本語教室を開催する。日本語指導に加え、ゲスト講師の経験を伝え、進路やキャリアについて考える機会を提供する	80,000 円
さぬきツインクラブ（高松市）	外出しづらさを抱える多胎家庭が気兼ねせず外出できるきっかけとして、双子の日に集う交流イベント「ツインズデー」を開催し、仲間作りを促す	60,000 円
男木島、未来の教育プロジェクト（高松市）	男木島の旧保育所施設を利用して、島内の子どもと島外の子どもの交流しながら、遊び場、自然体験等をするイベントを実施	100,000 円
一般社団法人もも（高松市）	こども・若者によるユース新聞の作成を通して自己表現の機会をつくり、若者たちの声を聴く。大学生・教員・地域の方と共有し、各種機関とも連携を促進	100,000 円
あしたプロジェクト（高松市）	LGBT（ジェンダーフリー）に関する絵本・児童書を地域の居場所である子ども食堂に無償寄贈し、そうした本を安心して手に出来る場所を高松で増やしたい	100,000 円

- ・伴走支援
 - 前述のとおり、本助成プログラムでは、香川県で育った若者たちが「地元が好き」「いつか戻ってきたい」という気持ちを胸に進路選択に臨める未来に向けて資する事業に助成をした。一方で、その現場で若者たちにどんなニーズがあるのかを調査する役割も担っているため、各団体の活動現場に可能な限り訪問し、その様子を寄付者や市民に向けて発信した。
 - 各団体の活動年数や事業規模により必要なサポートは異なるが、特に設立間もない任意団体等を対象に、会計書類のまとめ方や事務作業の効率化等のアドバイスを伴走支援の一環として実施した。事業効果がより高いものとなるように、連携先等を紹介することもあった。
 - 選考時に、申請した全ての団体にプレゼンテーションを実施してもらったことで、団体同士の相互理解が進み、事業期間内に活動を共にする様子を複数確認することができた。

(イ) 子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】

- ・当財団は、香川県で育った若者たちが「地元が好き」「いつか戻ってきたい」という気持ちを胸に進路選択に臨める未来をめざしている。教育の最前線で子どもたちと関わる小中学校、高校、支援学校の先生方による、地域との関わりの中で、子どもたちの地元への愛着形成や自己成長につながる体験の提供、および、地域への効果や影響を生み出す環境創出に対して、助成を実施した。

・2023 年度公募内容

対象事業 : 上記の意図を反映した、地域課題の解決や地域社会の健全な発展に貢献する事業

申請受付期間 : 2023 年 10 月 27 日～12 月 25 日

事業実施期間 : 採択通知～2024 年 2 月 29 日

申請件数 : 3 件

採択件数 : 3 件

助成総額 : 116,000 円

・2023 年度助成先

学校名	活動内容	助成金額
高松市立屋島西小学校	小学3年生の児童が、福祉について考える中で、人を笑顔にできる漫才をプロの芸人さんに学び、地域の方に向けて披露する	40,000 円
香川県立坂出高等学校	自然科学部の部員を中心に、丸亀市本島にてビーチクリーンアップ活動を行い、地域の魅力や課題に触れる	26,000 円
フレンドシップ 実行委員会	不登校傾向のある児童生徒が、通室先を自身が落ち着ける場所に変え、地域の方に不登校支援について知ってもらう	50,000 円

- ・伴走支援
 - 地域人材の紹介を実施した。学校現場に地域の人材が適切に関わることで、児童生徒たちの活動や思考に幅が生まれた。
 - 学校現場の活動を知ってもらうため、メディアにも積極的にプレスリリースを投げ込み、全て

の活動がメディアの取材先となり、広く市民に学校活動の様子を知ってもらいきっかけとなった。

・2024年度1次募集公募内容（進行中）

対象事業：助成プログラムの意図を反映した事業

申請受付期間：2024年5月16日～6月30日

事業実施期間：採択通知～2025年2月28日

申請件数：6件

採択件数：5件

助成総額：490,180円（見込み）

・2024年度助成先

学校名	活動内容	申請金額
尽誠学園高等学校	地元金融機関の協力による「社会に出る前の金融教育」で、高校3年生の香川愛を高める	90,180円
フレンドシップ 実行委員会	不登校の小中学生の支援センターでの造形・料理・体育活動などに地域の方を招き、社会とのつながりを感じる	100,000円
高松市立新番丁小学校	児童を主体とした、地域のコミュニティ協議会やPTAの協力により「人と人がつながるビオトープ」づくり	100,000円
香川県立高松東高等学校	保育探究グループが高松短期大学と連携し、0～5才児の遊び場の企画・運営を通じて、保育についての理解を深める	100,000円
香川県立高松高等学校	平和をテーマに、杉原千畝の母校の生徒と、杉原千畝の妻の母校である高松高校の生徒が現地交流し、その活動を地元の小中学生に共有・交流する	100,000円

・伴走支援を、順次実施する予定である。

(2) プロジェクト指定基金

・申請受付期間：2024年6月10日～12月27日（毎月末締切）

・申請件数：6月度0件

(3) 冠基金

新規応募は0件であった。

2. 地域円卓会議および研修・イベント等開催事業

(1) 情報共有の場づくり

(ア) 助成事業公開審査会の開催

プレゼン形式の選考会を広く一般に公開し、地域にどのような活動団体や社会課題があるのかを知ることができる場とした。また申請者同士が互いのプレゼンを聞くことで、交流や連携が広がる機会とした。

事業名： 2023年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【団体対象】
日時： 2023年12月17日 13時00分～15時45分
場所： 瓦町 FLAG 健康ステーション大会議室
内容： 申請団体によるプレゼン、選考委員による講評
参加者： 64名（申請者17団体35名、一般18名、選考委員3名、スタッフ8名）

(イ) 助成事業報告会の開催

助成先学校の報告を通じて、寄付がどのように活動に役立ったか、課題解決に貢献したかを共有することを目的に開催した。また、同助成プログラム2024年度の説明会を兼ねることで、同助成プログラムへの申請を検討中の学校の理解を深め、申請を促進することを目的とした。当日の様子を録画しYouTubeにて公開することで、アーカイブ視聴を可能にした。

事業名： 2023年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】
日時： 2024年5月20日 18時00分～19時15分
場所： オンライン
内容： 助成先学校による事業の実施報告およびトークセッション
参加者： 23名（助成先3校3名、一般17名、スタッフ3名）＋アーカイブ視聴 数十名

(2) 啓発事業・講師派遣等

- ・11月17日（一社）全国コミュニティ財団協会主催「コレクティブインパクトを生み出すローカルファウンド創生事業」公募説明会徳島会場
- ・11月28日 香川県主催「令和5年度NPOマネジメント講座」
- ・2月4日 香川県小児保健協会主催「第16回香川県小児保健協会研究会」
- ・2月9日 高松市総合教育センター主催「第7回教育フォーラム in 高松」
- ・2月10日 高松市市民活動センター主催「助成金獲得のための支援講座」
- ・3月1日（一社）全国コミュニティ財団協会主催「年次大会」
- ・4月22日（株）ONDO 主催「これから始めるCSR・企業価値を高める活動のヒントを得よう」
- ・4月26日 讃岐MTG 主催「定例勉強会」
- ・5月10日 せといざよいの会主催「定例勉強会」
- ・6月24日 吉備国際大学にて「公共政策」の授業を実施
- ・6月30日 とくしまコミュニティ財団設立プロジェクト主催「キックオフイベント」

3. 調査研究事業

今期は実施しなかった。

4. 相談・コーディネート事業

- ・資金調達に関する相談 7件（うち、4件はプロジェクト指定基金に申請）
- ・活動に関する相談 17件（助成先9件含む。14件は市民活動センターや中間支援NPOに引き継ぎ）
- ・遺贈に関する相談 2件（相談のみ）
- ・連携、コーディネート 3件（うち、助成先2件）

5. 財団運営活動

(1) 情報発信・啓発活動

- ・9月20日に設立記者会見を実施し、地元紙・メディアを中心にPRした。
- ・9月23日に設立記念パーティーを開催し、設立発起人や関係者を招いて交流を行い、機運を高めた。
- ・随時、当財団のウェブサイトおよびSNSにおいて、公募情報などを発信した。
- ・随時、当財団の情報をプレスリリースした。また、助成先団体と共同で、助成先団体のイベント情報等をプレスリリースした。
- ・10月より毎月1回のメールマガジンの配信を開始し、寄付者および関心のある方に向けて、公募情報や助成先団体の活動報告などを発信した。
- ・12月に年次報告書を作成し、寄付者や関係者に配布した。
- ・随時、外部からのヒアリングに対応した。
- ・メディア掲載実績

日付	メディア名	タイトル
9月20日	RSK山陽放送	「市民で支えあう仕組みを」市民から寄付を募り地域の活動を支援する「たかまつ讃岐てらす財団」設立【香川】
9月20日	KSB瀬戸内海放送	地域の課題解決にむけた取り組みを市民の寄付で支える「コミュニティ財団」が香川県で初設立
9月20日	NHK 香川 NEWS WEB	地域の課題解決を支援「たかまつ讃岐てらす財団」設立で会見
9月21日	四国新聞	県内初、コミュニティ財団 設立報告会、来月から助成先募集
9月21日	高松経済新聞	高松にコミュニティ財団 市民の寄付で地域課題解決の支援
10月3日	読売新聞	地域課題解決へ 支援財団を設立…高松
10月15日	かがわ経済レポート	未来のために賛同者募集中 たかまつ讃岐てらす財団
12月1日	高松市 広報高松	Bright Eyes ～たかまつでかがやくひと～ vol.44
12月20日	高松経済新聞	「たかまつ讃岐てらす財団」が公開助成審査会 香川県の17団体が参加
1月7日	RNC西日本放送	ルック ～地域発・輝くビジネス～・たかまつ讃岐てらす財団
1月15日	KSB瀬戸内海放送	香川県初のコミュニティ財団が子ども・若者支える11団体を助成
1月16日	高松経済新聞	「たかまつ讃岐てらす財団」が助成式 子どもや若者支援の11団体選出

1月25日	FM香川	JOY-U CLUB
2月5日	かがわ経済レポート	身近な地域課題を知る たかまつ讃岐てらす財団
5月1日	RNC ラジオ	さわやかラジオ ラ・フレッシュ たかまつ讃岐てらす財団の紹介「Brillante! for SDGs」

* 助成先団体等のメディア取材は上記に含まず

ほか

(2) 資金調達活動

(ア) 活動内容

- ・理事を中心に、個人や法人に対しての新規の寄付依頼、設立発起人への寄付依頼、ウェブサイトを通じた呼びかけを行った。
- ・寄付月間 2023 の団体アンバサダーとして、寄付月間である 12 月に寄付の呼びかけを強化した。
- ・継続的に財団運営を支援してもらう仕組みとして、月額・定額の寄付コース「てらすファンクラブ」を始動した。6月の開設以降 24 名の新規登録があった。

(イ) 資金調達実績

- ・てらすファンクラブは 24 名、月額 34,000 円／月、総額 68,000 円の寄付を受領した。
- ・その他、当財団運営費として 32 件（個人 27 件、法人・団体 5 件）、計 259,800 円の寄付を受領した。

【法人運営（管理）事業】

1. 機関会議の運営

(1) 評議員会の開催

定時評議員会を 1 回、臨時評議員会を 2 回開催した。

- ・第 1 回評議員会（2024 年 1 月 6 日 13 時 30 分～15 時 00 分 ふらっと仏生山）
 - 第 1 号議案 理事及び監事の報酬等の額について
 - 第 2 号議案 理事の職務状況について
- ・第 1 回臨時評議員会（2024 年 3 月 8 日 書面決議）
 - 第 1 号議案 定款の一部変更について
- ・第 2 回臨時評議員会（2024 年 4 月 12 日 11 時 00 分～11 時 45 分 財団事務所およびオンライン）
 - 第 1 号議案 定款の一部変更について
 - 第 2 号議案 役員および評議員の報酬等に関する規程の一部変更について
 - 報告事項 公益認定申請の経過状況の報告

(2) 理事会の開催

定時理事会を4回開催した。

- ・第1回理事会（2023年9月20日 14時00分～15時05分 瓦町FLAG）
 - 第1号議案 2023年度事業計画及び予算の件
 - 第2号議案 2023年度助成プログラムの件
 - 第3号議案 2023年度評議員会招集の件
- ・第2回理事会（2023年12月20日 13時30分～15時00分 ふらっと仏生山）
 - 第1号議案 業務執行の決定に係る事項（評議員会の招集、各種規程の承認、事務所の移転）
 - 第2号議案 理事の職務の執行の監督に係る事項（代表理事の職務執行状況報告、助成事業の結果）
 - 報告事項 1周年記念パーティーについて、財団設立後の寄付状況について
- ・第3回理事会（2024年3月21日 13時30分～14時40分 財団事務所）
 - 第1号議案 業務執行の決定に係る事項（各種規程の承認、今後の寄付募集計画、事業計画と予算の承認、遺贈寄付受入の承認）
 - 第2号議案 理事の職務の執行の監督に係る事項（選考委員選定、公益化申請の進捗、助成事業の進捗、各研修の参加）
 - 第3号議案 その他法令又は定款に規定する職務に係る事項（臨時評議員会招集の承認）
- ・第4回理事会（2024年6月19日 13時00分～15時00分 財団事務所）
 - 第1号議案 業務執行の決定に係る事項（各種規程の承認、次年度理事会の開催日程）
 - 第2号議案 理事の職務の執行の監督に係る事項（代表理事及び理事の職務執行状況報告）

(3) 監査の実施

第1回、第2回、第3回理事会には加藤監事および三村監事が、第4回理事会には三村監事が出席し、業務監査を実施した。

2. 役員に関する事項

(1) 評議員

今期中の就任または退任はなかった。

(2) 理事

- ・今期中の就任または退任はなかった。
- ・第4回理事会において、2024年8月1日付で副代表理事および業務執行理事のポストを新設し、有澤理事が副代表理事に、澤田理事が業務執行理事に就任することが決定した。

(3) 監事

今期中の就任または退任はなかった。

3. 事務所に関する事項

2024年1月6日に高松市勅使町から高松市番町へ、主たる事務所を移転した。

4. 事務局体制

(1) 組織体制

- ・期首時点で、事務局職員 4 名（非常勤 3 名、アルバイト 1 名）が在籍
- ・期末時点で、事務局職員 5 名（常勤 1 名、非常勤 4 名）が在籍

(2) 各事業の人員配置

- ・事業チーム（助成事業・イベント開催事業・寄付者の新規開拓等）：2 名
- ・総務チーム（総務・会計・経理等）：3 名

(3) 職員研修とスキルアップ

- ・10 月 30 日、（公財）みんなでつくる財団おかやまに職員 1 名が 4 ヶ月間インターンした成果を報告
- ・10 月 19 日、えひめ西条つながり基金主催、中期ビジョン策定研修会に理事 1 名が参加
- ・10 月 23 日、24 日の 2 日間、（一社）全国コミュニティ財団協会主催全体研修に理事 4 名、監事 1 名、職員 2 名が参加
- ・2 月 29 日、3 月 1 日の 2 日間、（一社）全国コミュニティ財団協会主催 プログラムオフィサー研修及び年次大会に理事 2 名が参加
- ・4 月 9 日、認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会主催、准ファンドレイザー必修研修に職員 1 名が参加
- ・7 月 13 日、14 日の 2 日間、（公財）福武財団主催報告会および研修会に理事 2 名が参加

5. 寄付者等の情報管理

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、サイボウズ社の kintone システムを利用し、データベースの適切な管理と活用を行っている。今後は Salesforce 社のシステムへの移行を予定しており、Salesforce 社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるようシステム移行を進めている。

※Salesforce：CRM クラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO 法人等への無償提供プログラムなど CSR にも積極的に取り組む (<http://www.salesforce.com/jp/>)

添付資料：

- ・選考会開催状況
- ・業務執行理事の職務執行状況報告

以上のとおりであるが、第 1 期（2023 年度）事業報告は本文にて事業等が詳細に説明されるため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

第1期（2023年度・一般法人）
一般財団法人たかまつ讃岐てらす財団選考委員会 選考会開催状況

■2023年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【団体対象】

助成対象：	香川県内に事務所を置く団体、組織 (法人格の有無や種類は不問、ただし対象となる事業は非営利目的であること)
募集方法：	公募
選考方法：	「申請書類」、「インターネットなどで公開されている情報」「公開審査会でのプレゼン」をもとに、選考委員3名の合議による選考を実施
選考会：	日時： 2023年12月17日 13時00分～15時45分 場所： 瓦町FLAG 健康ステーション大会議室
選考基準：	(1) 地域の課題やニーズをとらえた内容であるか (2) 事業活動による効果（活動後にどのような状態になるか）が明確であるか (3) 実施スケジュールが明確であり、現実的な内容であるか (4) 事業の実施地域が明確であるか (5) 事業実施に必要な体制が整っているか（人員、機材、能力等） (6) 助成終了後も事業の継続や発展が期待できるか (7) 計画に応じ予算の使途が適切で、公開できる内容であるか
選考結果：	11団体採択
選考結果の公表：	当財団ウェブサイト上での公開

■2023年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】

助成対象：	香川県内に設置されている小学校・中学校・高等学校・支援学校
募集方法：	公募
選考方法：	「申請書類」、「インターネットなどで公開されている情報」をもとに、選考委員5名の合議による選考を実施
選考会：	日時： 順次（申請受付後2週間以内） 場所： オンライン
選考基準：	(1) 児童・生徒のために必要な内容であるか (2) 地域の特徴やニーズに基づいた内容であるか (3) 事業活動による効果（活動後にどのような状態になるか）が明確であるか (4) 実施スケジュールが明確であり、現実的な内容であるか (5) 事業実施に必要な体制が整っているか（人員、機材、能力等） (6) 助成終了後も地域との関わりの継続や発展が期待できるか (7) 計画に応じ予算の使途が適切で、公開できる内容であるか
選考結果：	3団体採択

選考結果の公表：	当財団ウェブサイト上での公開
----------	----------------

■2024 年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】

助成対象：	香川県内に設置されている小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・支援学校
募集方法：	公募
選考方法：	「申請書類」、「インターネットなどで公開されている情報」をもとに、選考委員 3 名による選考を実施
選考会：	日時： 2024 年 7 月 12 日 14 時 00 分～16 時 00 分 場所： (株)ONDO 会議室
選考基準：	(1) 児童・生徒のために必要な内容であるか (2) 地域の特徴やニーズを考慮した内容であるか (3) 実施スケジュールが明確であり、現実的な内容であるか (4) 事業実施に必要な体制が整っているか（人員、機材、能力等） (5) 計画に応じ予算の使途が適切で、公開できる内容であるか
選考結果：	5 団体採択
選考結果の公表：	当財団ウェブサイト上での公開

第1期（2023年度・一般法人） 一般財団法人たかまつ讃岐てらす財団
業務執行理事の職務執行状況報告

■代表理事

- ・理事会、評議員会の招集及び出席
- ・事務局打合せ出席、会計承認
- ・助成事業選考会、助成式出席
- ・設立記念パーティー出席
- ・職員面談
- ・内部決裁、承認
- ・一般財団法人設立登記
- ・公益申請提出
- ・各種啓発活動（登壇等）

以上